

※ 内訳として迷子の2,493件(41.3%)が最も多く、時間帯では12時～17時台での対応が59.5%となった

- ・「高齢者保護の対応」は11,140店、12,103件の対応を行った。内訳は徘徊(4,913件)と急病・ケガ(4,855件)に二極集中しており、時間帯としては23時～5時台の深夜を含めた全時間帯で対応していることが特徴
- ・110番通報では、全国で22,685店、54,514件の通報を行った
- ・酒類販売時の年齢確認は95.1%の店舗で、またタバコ販売は92.6%の店舗で実施されている
- ・成人向け雑誌(ゲームソフト含む)販売時の年齢確認は72.9%の店舗で実施
年齢確認の方法については運転免許証等の証明書提示によるものが48.0%ほぼ半数
 - ※ 85.7%の店舗が年齢確認時に、条例等による購入者証明書提示義務付等のバックアップを希望
 - 1. 年齢確認が困難な場面には21,313店(61.3%)が遭遇している
 - 2. 成人か否か判断に迷うことがレジ混雑してお客様が並んでいる時に8,578件ある
 - 3. 未成年と思われるお客様から否定された時が8,562件ある
 - 4. このようなことから59.3%のオーナーが確認が難しいケースがあるとの回答があった
- ・「万引き」は、28,898店(83.2%)で77,314件の被害があった
- ・青少年に対する深夜時間帯での帰宅促進については18,117店(52.1%)で対応
- ・防犯協議会等防犯組織へは16,017店(46.1%)が加入、防犯訓練は10,737店(30.9%)が参加
- ・地域と連携した防犯パトロール等は10,359店(29.8%)で実施
- ・店外用防犯カメラは、4,962店(14.3%)が既に設置。未設置店舗は24,169店(81.1%)
- ・女性の駆け込みは、10,571店(30.4%)で対応
 - ※ 内訳は「ストーカー」3,710件(28.2%)、「急病・ケガ」2,168件(16.5%)、「痴漢」1,825件(13.9%)、「事故」1,801件(13.7%)、「暴力」1,758件(13.3%)。特筆すべきは、駆け込みのあった事案が深夜時間帯(23時～5時台)に最も多い(5,076件、43.5%)点で、SS活動が深夜時間帯における女性の被害防止に大きく貢献できたものと考えられる。また、この事案件数以外にも、助けを求める意思表示はないものの店舗に立ち寄ることで難を逃れた事案も相当数あるものと思われる
- ・子どもの駆け込みは、5,511店(15.9%)で対応を行った
 - ※ 内訳は「迷子」2,493件(41.3%)、「急病・ケガ」1,032件(17.1%)、「いたずら」418件(6.9%)、「暴力」288件(4.8%)。「迷子」が一番多く、時間帯では12時～17時台に集中(3,418件、59.5%)、18時～22時台(1,271件、22.1%)、23時～5時台(423件、7.4%)と幅広く対応しており、SS活動が子どもの安全に少なからず貢献できたものと考えられる
- ・高齢者の保護は、11,140店(32.1%)で対応を行った。内訳は「徘徊」4,913件(40.6%)、「急病・ケガ」4,855件(40.1%)、「事故」745件(6.2%)、「事件」127件(1.0%)。保護理由については「徘徊」と「急病・ケガ」が際立って多く二極集中していて、時間帯では12時～17時台(5,226件、43.9%)を中心に23時～5時台の深夜(1,897件、15.9%)含めた全時間帯で対応していることが特徴
- ・子どもの見守り活動として「登下校時の声掛け」を12,612店(36.3%)が実施
- ・警察の110番通報は22,685店(65.3%)で54,514件の通報を行った
- ・昨年は22,250店で48,683件であり対応店舗数・件数ともに増加
- ・「万引き・窃盗」は13,644件で昨年(13,214件)より430件の増加
- ・「放置車輛」による通報は5,977件で昨年(5,346件)より631件の増加
- ・「青少年のたむろ」7,221件で昨年(7,481件)比で260件減少したが引続き重要課題の一つ
- ・その他、女性・子どもの駆け込み、高齢者保護に伴う通報が6,044件

セミナー内容 フランチャイズに加盟し独立・開業を検討されている皆様に、
フランチャイズ・ビジネスの基礎知識、加盟のポイント、本部との
上手な付き合い方を紹介。また、弊社のフランチャイズ加盟サポ
ートシステムをご紹介いたします。

参加費 無料

お問合せ先 日本フランチャイズ総合研究所
<http://www.the-franchise.co.jp>

2. リクルート アントレフェア in 大阪 「有望フランチャイズ大研究」

日時 5月31日 土曜日 15時15分～16時

講師 株式会社 日本フランチャイズ総合研究所
代表取締役所長 内川 昭比古

会場 大阪南港ATCホール

セミナー内容 フランチャイズ・チェーンの基礎知識から、有望フランチャイズの
見分け方、フランチャイズ本部と上手に付き合う方法など、専門家
ならではのチェックポイントを公開。また、弊社のフランチャイズ
加盟サポートシステムをご紹介いたします。

参加費 無料

お問合わせ先 リクルート・アントレ FC&独立開業フェア 事務局
<http://entre.yahoo.co.jp/info/fair/index.html>

3. 「フランチャイズ・ビジネス本部構築・再構築セミナー」

日時 6月6日 金曜日 13時30分～17時30分

講師 株式会社 日本フランチャイズ総合研究所
代表取締役所長 内川 昭比古

会場 日本フランチャイズ総合研究所 5F会議室

セミナー内容 フランチャイズ・チェーンの本部機能再構築をご検討されている方、
フランチャイズ・ビジネスを構築中の方に、フランチャイズ・ビジ
ネスの基礎知識から、構築ステップ、加盟店開発戦略まで、フラン
チャイズ・ビジネス本部構築について講義いたします。

物事の事実は事実として、そこにある実体は意外と分からないものです。物事はすべからず多面性を持っています。マスコミはその責務として「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」「どう対応するのか」「誰の責任なのか」「どう再発を防ぐのか」を伝えることが基本なのですが、「誠意を持って対応しているか」「どのように答えたか」のほうに報道主旨が移ってしまいがちです。いつの間にか「法律問題」が「倫理・道徳問題」となっているのです。

マスコミに限らず日本人は、勧善懲悪の面を好む傾向にあります。悪いことをしたという事実はあるのですが、その悪い事実が顕在化したとき、その責任者はすべての人格を否定され「悪い人」になってしまいます。

ものの見方考え方はいろいろです。「事実は小説よりも奇なり」。日々いろいろなことに対応していかねばならない我々ビジネスマンは、少なくとも物事には多面性があるということを肝に銘じておく必要があります。

くれぐれもご自愛の程。

※ このメールは以下の皆様に配信させて頂いております。

- ・ 弊社コンサルタントが名刺交換をさせて頂いた方。
- ・ 日本フランチャイズ総合研究所にお問い合わせをいただいた方

※ ご意見、ご要望、ご質問は下記アドレスまでご連絡ください。
尚、配信停止をご希望される場合も、下記までご連絡ください。

Mail to: franchise-news@the-franchise.co.jp

発行者：株式会社 日本フランチャイズ総合研究所

代表取締役所長 内川 昭比古

〒102-0083

東京都千代田区麹町4-4 麹町シャインビル2F

TEL 03-3511-3755(代)

FAX 03-3511-3754

<http://www.the-franchise.co.jp>

Mail to: franchise-news@the-franchise.co.jp